

## 会議録要点記録

□全部記録    ■要点記録

1	会議名	姫路市地域自立支援協議会全体会（令和7年度第2回）
2	開催日時	令和8年2月17日（火） 午後2時30分～4時30分
3	開催場所	こどもの未来健康支援センター みらいえ 2階 講義室
4	出席者	<委員> 姫路市地域自立支援協議会 委員21名（欠席1名） <事務局> 障害福祉課長、障害福祉課主幹、障害福祉課担当者
5	傍聴人数	4名
6	次第	1 開会 2 議事 (1) 令和7年度姫路市地域自立支援協議会 活動報告について 3 報告 (1) 地域生活支援拠点等（相談、専門的人材の確保・養成等）の整備について 4 その他 5 閉会
7	配布資料	<事前配布> 資料1 令和7年度姫路市地域自立支援協議会専門部会等の検討概要について 資料2 令和7年度姫路市地域自立支援協議会障害当事者部会等の検討概要について 資料3 地域生活支援拠点等（相談、専門的人材の確保・養成等）の整備について <当日配布> 会議次第 令和7年度 第2回姫路市地域自立支援協議会配席図 姫路市地域自立支援協議会委員名簿
8	会議の要点内容	以下のとおり
事務局	1 開会（午後2時30分）	
会長及び各専門部会長	2 議事	
会長	(1) 令和7年度姫路市地域自立支援協議会 活動報告について	
		【資料1：令和7年度姫路市地域自立支援協議会専門部会等の検討概要について】説明
		委員から、何か意見はないか。

委員	<p>家族支援は今の福祉のテーマの大事なポイントで、かつ、うまくいっていないと認識している。</p> <p>今回の提言の中で、例えば地域での「面」の支援体制を構築するということについて、具体的に誰がどこで何をするのだろうか。</p> <p>オンラインのネットワーク化も大変大事だと思っており、オンラインで計画が見られるといったことも含めたいが、今回の提言の中で具体的にどのようなことをするのかお聞かせいただきたい。事業所部会としても何かできることがあればと思う。</p>
委員	<p>これから考えていく部分も多いが、「関係機関 役割・連携マップ」の策定については、具体として取り組むことができ、形として残していけるのではないかと考えている。</p> <p>また、連携の質の向上と「顔の見える」関係づくりについては、様々な機関から発信がなされている。その情報を共有し、そこに他機関が入ることができるような連携や仕組み作りについて、もちろん、どこが主導になるかという問題はあるが、まず自立支援協議会の部会を通して築いている関係機関とのつながりの部分からスタートするような形で、できるところから広げていきたいと考えている。</p>
委員	<p>本来、こどもの分野は、こども家庭庁で取りまとめて欲しいところである。教育も福祉も保育も含め、プラットフォームがあるといいと思っている。是非来年度何か作ってほしいと思う。</p>
副会長	<p>地域、地域でしっかり連携できるよう、今後進めていける仕組みづくりを進めていきたい。</p>
会長	<p>こども部会を通して、家族を支援していくという概念が、それぞれの支援機関で異なる印象を受けた。その点で、目指す方向性の統一という観点も必要ではないかと感じる。例えば、今日の会場である「みらいえ」での取り組みについてもまだ認知されていないところがある。先ほど委員からあったように、実際の委員の方々にお集まりいただくことで、連携、もしくは一つの家族支援スタートになればと感じた。</p>
委員	<p>日中サービス支援型グループホームについて聞きたい。事業所の中には、日中に通所されている方がいないところがあるが、基本的に通所が難しい方が入所されているグループホームの形という認識であった。姫路市内で入所されている方の中でどれくらいの方が通所されているのか。</p>
事務局	<p>日中サービス支援型グループホームの仕組みができた当時、そこで日中のサービスを提供することで生活が完結できるような形で描き出されたため、開設が古いところの方が、できるだけグループホームでサービスを提供しようと対応されている傾向がある。開設が新しいところは、外部の日中活動を利用する割合が多いという傾向があ</p>

	<p>ると感じている。</p> <p>制度上、日中活動を利用してはいけないということはなく、報酬面でも日中活動を利用するかしないかで報酬が変わる仕組みになっている。ただし、事業所の運営上、日中に全ての利用者が通所すると、グループホームの職員が余剰状態になる。その辺りは、当事者同士で協議し、外部を利用するかを決めているのではないかと感じている。</p>
会長	<p>それでは、専門部会の活動報告については以上とさせていただきます。</p> <p>専門部会での協議が難しくなっているところがある。今回、こども部会で家族支援について協議したが、例えばくらし部会やつながる部会でも、家族支援という議論があった。このようにいずれの部会においても議論が必要な議題が増えている印象である。今後は専門部会の枠を超えた議論を行うときがやってくると感じている。</p>
会長	<p>では、障害当事者部会の報告に移る。</p> <p>【資料2 令和7年度姫路市地域自立支援協議会障害当事者部会等の検討概要について（障害当事者部会）】説明</p>
会長	<p>当事者部会について、委員から何かあるか。</p>
委員	<p>今年度も当事者部会を開催できたことがまず良かったと思っている。当事者部会については、これまで参加されている方が継続して参加される場合や、新しく参加するという場合もあり、様々な障害者の方が参加されている。今後も継続して開催されることを願っている。</p>
会長	<p>続いて、事業者部会（「ひめじっこネット」）の報告をお願いします。</p>
委員	<p>事業者部会の「ひめじっこネット」では、私としては人材を確保したいということを第一に考えている。</p> <p>恐らく地域にはたくさん人材がいて、「こんなことができる」という方もいるのだが、「どこで何をどう活用したらいいのか分からない」「どうせ私なんか」といった感じで活用できていない状況である。そこで、具体的にそういった方が何かできる場を作ろうと考え、呼びかけた。毎年度メンバーは変わるが、今年度は33名のスタッフが集まっている。児童の事業所、また、相談支援事業所で児童対応をしている事業所へ声をかけている。「参加したい」と、向こうから来ていただくことが大事だと思っている。</p> <p>33名は、三つのグループに分かれて活動している。複数のグループへ参加するなど、自分の好きなグループに参加している。一つ付け加えるならば、勝手にやっているのも結構大事である。三つのグループにそれぞれリーダーがいて、私と関係なく、それぞれで動き始めたことが、今年度の一番大きな収穫である。</p> <p>一つ目は課題解決グループである。今年度はアンケート調査を実施した。これは放課後等デイサービスのお迎え時に、まず車がどこに停めていいのかについて難しさを感じているということで、実際にどのぐらいの事業所が困っているのかというところ</p>

	<p>を調査した。</p> <p>二つ目は研修チームである。研修チームは全体会議や研修を行っている。</p> <p>1回目の研修は、テーマを保護者支援とし、集合研修で実施した。今年に入り、2、3回目の研修を実施したが、そこではテーマをあまり決めずに実施するという形を取った。その場では、様々な話が出て、ニーズはどこにあるのかということを考えさせられた。</p> <p>実際に集まってみると、研修のテーマももちろん大事であるが、ただ話をするということ、「日々の支援の中で、こういったことをしたらこうだった」という実際の事例はすごく盛り上がる。先ほども少し話があったが、顔が見える関係というのはそういうところだと思う。その集まりの中で、「これをしよう」ということ、例えばこの間の集まりでは、相談支援事業所とサービス提供事業所の連携が全くできていないが、それをどうしたらいいかみたいなことを考えていこうという話が出たが、そういった雑談の中から持ってくるようなテーマも大変大事だと考えている。</p> <p>三つ目は、イベントチームである。こちらも定期的に集まっており、今年の9月に（仮称）ひめじっこ万博を開催予定である。複数の事業所が集まり、総合福祉会館において開催する。「それぞれの事業所がこんなことをしている」ということをお互い知るためにも、また、実際に利用される子供たちも来てくれたらいいと考えており、この計画に向かって皆で取り組んでいる。</p> <p>最近、多くの事業所が開設されており、連携は大事なものとなっている。しかし、連携というのは「紙に書いてできる」というものではなく、「一緒に汗をかく」ことが重要だと考えている。その面で、イベントチームでは、何か一つのことを成し遂げる、その過程で仲間ができていくということができ、大変よいものだと感じている。</p> <p>この活動の中から、もっと積極的な活動を進める存在が出てくるといいと考えている。</p>
会長	<p>続いて、その他の事業所部会報告からお願いしたい。</p>
事務局	<p>【資料2 令和7年度姫路市地域自立支援協議会障害当事者部会等の検討概要について（地域生活支援拠点等関係機関連携会議）】説明</p>
会長	<p>【資料2 令和7年度姫路市地域自立支援協議会障害当事者部会等の検討概要について（生産活動振興部会）】説明</p>
会長	<p>生産活動振興部会について、委員からお願いしたい。</p>
委員	<p>令和8年度に向けて具体的にどのようなことが必要か考えて進めているところである。「ひめじっこネット」と同様、いくつかのチームを作り、商品開発や作業、システムや農福、ネットワークの構築等について検討を進めていきたい。まず3月中に、各チームの主となって活動をしてくださる事業者を集め、打ち合わせをしたいと考えている。</p>

会長	<p>続いて、その他の事業所部会報告を委員からお願いしたい。</p>
委員	<p>これまで、相談支援事業所全体会については、年2回続けてきた。相談支援専門員にとって、自立支援協議会という存在が身近なものではなく、日々の相談支援の中で地域の課題を洗い出し、その課題を自立支援協議会で検討していくという流れについて研修により知識としては持っているものの、なかなか実感が持ちにくい状態であったため、相談支援専門員の意識を高めるという目的もあり、この度事業者部会として相談部会を立ち上げた。令和7年度の相談支援事業所連携会議について報告する。</p> <p>これまでに、相談支援事業所の全体会やつながる部会の小部会の中で、相談支援専門員の役割について議論を重ねてきた。つながる部会の報告でもあったが、姫路市では、相談支援専門員が疲弊して廃業する事業所がある一方、新規事業所が開設されるといった状態で、事業所の数は変わらないという状態が続いている。その一方でサービス利用者は、特に児童分野では増えており、相談支援専門員が更に疲弊するという構造がある。</p> <p>その状況下において、「相談支援専門員とはこういう仕事をする人だ」ということを相談支援専門員自身が情報発信できるような団体になっていきたいという思いを持ち、その役割整理について議論を重ねてきた。</p> <p>【資料2 令和7年度姫路市地域自立支援協議会障害当事者部会等の検討概要について（相談支援事業所連携会議）】説明</p>
会長	<p>続いて、ケアマネジメント会議の報告を委員からお願いしたい。</p>
委員	<p>令和7年度は年3回ひめりんくから事例を挙げていただき、地域課題を探るという形で開催した。本来は相談支援専門員等、地域から検討して欲しいという事例がケアマネジメント会議に諮られることが理想ではあるが、問い合わせがなく、こちらから動いて開催をした次第である。</p> <p>3事例を通して、共通して見えてきた地域課題について報告する。</p> <p>【資料2 令和7年度姫路市地域自立支援協議会障害当事者部会等の検討概要について（相談支援事業所連携会議）】説明</p>
会長	<p>ただいまの報告を踏まえ、当事者部会にも参加いただいている委員から何かあるか。</p>
委員	<p>様々な障害の立場からの意見が聞けて、大変勉強になった。これからも障害者自身が意見交換し発信していくことが大切だと思う。</p>
委員	<p>最近は合理的配慮の提供が義務化されたということもあり、ハード面、ソフト面でもとかなり充実してはいるが、まだ障害者としては入りにくい店舗等もある。義務化されたとはいえ、店舗の方も対応が難しいところがあるようである。市外から観光に来られた盲導犬を連れた方が、事前に利用可能な店舗を調べておかないと、入店を</p>

委員	<p>断られた事例を耳にしたこともある。店舗側と協議していただき、皆が利用しやすい環境を整えていただきたい。</p> <p>視覚障害者に対する同行援護については、介助者の数もかなりあり、外出する際に利用させていただいている。</p> <p>ケアマネジメント会議については、大変重要だと感じている。やはり自立支援協議会とは、具体的な事例から何をみていくのかが大事であり、「こういった場合についてはこう」とまとめてしまうと早計に過ぎ、「それはそうだ」という当たり前のことになってしまう。一人ひとりの暮らしぶりだったり、ストーリーだったりをうまく伝えていただきたいと思う。どんなことが今起こっていて、皆でどうしようとする流れが欲しい。</p> <p>会議の形態も様々だと思うが、各自が「自分の領域だったらどうするか、何ができるだろうか」と考えることができるような状態をぜひ作っていただけると、この会議がより良いものになると思う。是非次につなげていただきたい。</p>
会長	<p>個別事例になると、多くの個人情報が含まれる。利用者の了解を得ることの必要性も出てくることから、抽象的な報告になっている。</p> <p>自立支援協議会の全体会については、全て公開しており、傍聴にも来ていただいている。一方で、ケアマネジメント会議や専門部会については、個別の具体的な意見が出てくることから非公開で進めている。今日の意見を含め、今後どうしたらいいか検討していきたい。</p>
委員	<p>今まではもう少し大きなテーマでの報告であったかと思うが、より一歩進んだような、少し小さなテーマでそれぞれ検討いただいて、内容として進んでいるという印象を受けた。</p> <p>兄弟支援や保護者支援については、行き渡っていないということはないと思われる。しかしながら、積極的に関わっていこうとする保護者に関しては、それなりの支援が受けられる一方で、内にこもってしまうというか、去年姫路でも医療的ケアが必要なお子さんが亡くなるという事件もあったが、そういった中でいうと、相談支援等に関わっている方が、どこまで家庭に入り込めるかというところも課題であると感じている。</p> <p>保護者との関わりの中で、なかなか正直に言ってもらえないことも当然出てくるとは思うが、問題を見つけるではないが、今後まだおそらく隠れた部分もあるのではないかと思う。そういったところも家族支援として捉え、今後検証していただきたい。</p>
委員	<p>家族支援については、以前から言われている。私個人としては、福祉の大きな支援を受け、今に至っているし、自分の子どもも支援チームによって今生活が成り立っている状態である。</p> <p>私は当事者の親という立場で、メンターとして、他の親を応援するというペアレントトレーニングを行っているが、今日の午前中は特別支援学校の保護者対象の相談会</p>

	<p>を実施した。午後からは、明石市内の集まりに参加したが、そういった「親が親を支える」ということには当然限界がある。</p> <p>今、学校では教員が足りておらず、福祉の現場でも人が足りていない。また、相談支援専門員も少なく、セルフプランにならざるを得ないという、親の負担は軽減されない現状がある。協議会の役割かどうかは分からないが、その人材不足の背景には、様々な働きにくさや条件の悪さが未だにあって、その点も含めた家族支援のみならず、支援者支援というのも本当に必要だと思っている。</p> <p>この協議会の役割とどう連動させるのかという具体的な提案はできないが、皆が動きやすい環境作りとはどうすればいいのかという話を、どこで話し合うのか、イニシアチブをとる部署や機関はどこなのか、本当に悩ましいと思う。</p> <p>支援者が元気に活動できないと本当に当事者が回らない。今日も明石の方で親が70歳、80歳になっても自分の子を看ているような状況が未だに続いているという話があったが、誰が何をすべきか、何か知恵がないかと思う。</p> <p>今日も住まいの話がたくさん出てきたが、結局当事者が家から離れて生活できる住まいの確立が最大の課題になっている。親から離れて、当事者が自立した生活を送れるような環境がどれだけあって、どのように進んでいくのか。日中サービス支援型だけではなく、包括型やサテライト型も含め、グループホームをもう少し充実させていければ、間接的には家族支援に繋がっていくのではと思う。</p>
会長	他に何かないか。
委員	<p>私の法人は保育所も運営しているが、現場でも、年々いわゆる「グレーゾーン」と言われる子どもが増えてきているという認識がある。様々な情報をうまく活用することが家庭として難しいという場合もあれば、保育士自身の認識不足があり、保育士の質を上げる必要がある場合もあると感じる。</p> <p>法人内では子ども食堂も開催しているが、来られる保護者から相談を受けることもあり、どの範囲で連携すべきかと悩むこともある。以前、こども支援課に別件で話をした際に、「それは障害福祉分野である」と言われたことがあった。保護者が何か不安を覚えたときに、相談支援とすぐ繋がれるというわけでない。やはり保護者は、信頼している場所と繋がっていくと思われる。家族支援は大変難しいところだと思うが、こういう場で議論を進めていくことが大事だと感じている。</p>
会長	<p>こども部会での検討もそうであるが、委員のご発言にあったような、行政の領域を超えた支援が必要であると感じている。</p> <p>長くなつたが、議事を終了し、報告に移る。</p>
事務局	<p>3 報告</p> <p>(1) 地域生活支援拠点等（相談、専門的人材の確保・養成等）の整備について</p> <p>【資料3 地域生活支援拠点等（相談、専門的人材の確保・養成等）の整備について】 説明</p>

<p>会長</p>	<p>今説明があったように、姫路市では地域生活支援拠点等事業については、面的整備により実施している。来年度から相談や専門的人材の確保の部分の登録要件を追加したということでご理解いただければと思う。報告事項については終了する。</p> <p>4 その他</p>
<p>会長</p>	<p>意見はないか。 (意見なし)</p> <p>では、私の進行は以上とし、事務局へ進行をお返りする。</p>
<p>事務局</p>	<p>令和8年度は姫路市障害福祉推進計画の中間見直し年である。策定した障害福祉サービス等の目標数値や計画の進捗状況等の検証を行うとともに、計画後期の目標値の設定を行うこととしている。これに伴って、パブリックコメントの実施を予定しており、また、自立支援協議会等を通して皆さまにご意見をいただくことになるため、ご協力をお願いしたい。</p> <p>令和8年度第1回姫路市地域自立支援協議会は、本年6月の開催を予定している。</p> <p>5 閉会（午後4時30分）</p> <p>(終了)</p>